

1. 略歴

1978年3月	青山学院大学文学部フランス文学科卒業
1994年4月	広島大学大学院教育学研究科（日本語教育）博士課程前期入学
1996年3月	広島大学大学院教育学研究科（日本語教育）博士課程前期修了（教育学修士）
1996年4月	愛媛大学教育学部、松山東雲女子大学人文学部非常勤講師
1998年4月	松山東雲女子大学人文学部専任講師
2000年4月	松山東雲女子大学人文学部助教授
2003年10月	愛媛大学留学生センター助教授
2006年4月	愛媛大学国際交流センター准教授
2008年4月	愛媛大学国際教育支援センター准教授
2011年9月	東京大学日本語教育センター教授
2014年7月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本語教育

b 研究課題

- 1) 日本語非母語話者の学習ニーズの多様化に対応しうる漢字教育の確立
- 2) 日本語非母語話者と母語話者の協働による日本語学習の効果の実証分析

c 主要業績

(1) 論文・研究ノート

- 「トキ節の同時解釈と絶対的テンス」『広島大学日本語教育学科紀要』第7号（1997.3），127-134頁。
- 「非漢字圏学習者向け漢字クラスのためのシラバス案—制約の多い状況下での効果的な指導を目指して—」『愛媛国文と教育』第30号（1997.12），12-21頁 愛媛大学教育学部国語国文学会。
- 「漢字運用力を養成する指導—非漢字圏学習者を対象とした初級漢字指導の新たな展開—」『愛媛国文と教育』第32号（1999.12），1-9頁 愛媛大学教育学部国語国文学会。
- 「松山における外国人留学生の方言認識と方言教育のあり方—アンケートおよび聞き取りテストの結果に基づいて—」『松山東雲女子大学人文学部紀要』第8巻（2000.3），107-113頁。
- 「留学生支援としての日本語・日本文化集中講座の実施報告と今後の可能性」『松山東雲女子大学人文学部紀要』第11巻（2003.3），173-185頁。
- 「マニュアルつき漢字教材の開発」『松山東雲女子大学人文学部紀要』第12巻（2004.3），105-112頁。
- 「『ありがとうございます』と『ありがとうございました』の使い分けについての一考察」『松山東雲女子大学人文学部紀要』第12巻（2004.3），92-104頁。
- 「非漢字圏学部留学生の漢字語彙力調査から見えてくるもの—マレーシア政府派遣留学生を事例として—」『専門日本語教育研究』第8号（2006.12），51-56頁。
- 「覚えた漢字を文中で書けるようにするための学習活動—非漢字圏初級学習者の作文観察を通して—」『愛媛大学国際交流センター年報』創刊号（2007.3），16-23頁。
- 「初級漢字学習終了以降の非漢字圏学習者向け漢字教材に関する一考察」『愛媛大学国際交流センター年報』第3号（2009.3），21-30頁。
- 「日本語学習者の漢字学習支援場面における日本人サポーターの学びについての一考察」愛媛大学教育企画室『大学教育実践ジャーナル』11号（2013.3），21-30頁。

(2) 教育研究報告

- 「留学生受け入れの現状と今後の展望」『経済・文化アジアネット21 活動報告集』Vol.3（2003.10），23-28頁 経済・文化アジアネット21。
- 「大学の国際化と日本語教育—日本語教育を軸とした留学生と日本人の交流促進—」独立行政法人日本学生支援機構『留学交流』3月号（2010.3），18-21頁。
- 「日本人サポーターを活用した中級以降の漢字指導の試み」濱川祐紀代編『日本語教師のための実践・漢字指導』（くろしお出版，2010.10）141-155頁。

(3) 著書

『発語内行為の意味ネットワーク—言語行為論からの辞書的対話事例分析—』(久保進, 阿部桂子, 越智希美子, 鈴木光代との共著)(晃洋書房, 2002.12) 63-95 頁(担当部分).

『Write Now! Kanji for Beginners』(串田真知子, 築地伸美との共著)(スリーエーネットワーク, 2006.10) 1-229 頁.

(4) 学会発表

「トキ節のル形・タ形の選択要因をめぐって」平成7年度第5回日本語教育学会研究集会(愛媛大学), 1996.1.

「漢字運用力を高める指導の試み—非漢字圏初級学習者を対象に—」平成10年度第12回日本語教育学会研究集会(四国学院大学), 1999.3.

「漢字運用力を養成する教材『漢字どんどん』の開発と使用の効果」日本語教育方法研究会第23回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.11 No.2 pp.14-15(広島大学), 2004.9.

「『日本語教育』と『生活支援』を一体化した『サバイバルコース』の試み」日本語教育方法研究会第23回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.11 No.2 pp.34-35(広島大学), 2004.9.

「Developing a textbook to improve the literacy to use kanji」Japan Association for Language Teaching(松山東雲学園100周年記念館, 愛媛), 2005.3.

「理工系学部留学生を対象とした漢字教育のための基礎調査—現行の教科書『物理Ⅰ・Ⅱ』に出現する漢字の特徴について—」平成17年度第4回日本語教育学会研究集会(愛媛大学), 2005.6.

「非漢字圏理工系学部留学生の漢字力をどう伸ばすか—既有漢字知識を生かした発展学習のための基礎的調査—」日本語教育方法研究会第25回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.12 No.1 pp.18-19(徳島大学), 2005.9.

「愛媛大学におけるマレーシア人学部留学生の受け入れの変遷と日本語力の現状」ISSUES IN LANGUAGE TEACHING AND LEARNING AMONGST NON-NATIVE SPEAKERS(マレーシア), 2005.12.

「漢字仮名交じり文を書く過程から見た漢字指導」日本語教育方法研究会第28回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.14 No.1 pp.2-3(早稲田大学), 2007.3.

「非漢字圏初級学習者の漢字運用力養成を目的とした漢字指導」第12回JSL漢字学習研究会(桜美林大学), 2007.1.

「『アジア人財資金構想』におけるビジネス教育の現状と課題」2008年日本語教育国際研究大会『日本語教育学世界大会2008予稿集1』pp.341-344(韓国), 2008.7.

「より実践的な日本語力養成を目指したビジターセッションの試み」日本語教育方法研究会第31回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.15 No.2 pp.22-23(愛媛大学), 2008.9.

「漢字クラスにおける日本人サポータ活用の様々な可能性」日本語教育方法研究会第32回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.16 No.1 pp.26-27(神奈川大学), 2009.3.

「日本人ボランティアのための漢字指導マニュアル—非漢字系日本語学習者の漢字字形改善に向けて—」日本語教育方法研究会第33回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.16 No.2 pp.2-3(弘前大学), 2008.9.

「漢字学習における日本語学習者と日本人のピア・ラーニングの可能性」2010年世界日本語教育大会(台湾), 2010.8.

「ビジネス日本語とアカデミック・ジャパニーズの比較分析—ビジネスにおける「報告」のスキルを中心として—」第13回専門日本語教育学会研究討論会『第13回専門日本語教育学会研究討論会誌』pp.21-22(東北大学), 2011.3.

「ビジネス日本語教育とアカデミック・ジャパニーズ教育との比較から示唆される授業実践への手がかり」日本語教育方法研究会第36回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.18 No.1 pp.8-9, 2011.3.

「地域の日本語指導における識字指導の重要性と今後の課題—日本語学習支援に関する実態調査から見えてきたこと—」2011年度日本語教育学会秋季大会『2011年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp.45-56(鳥取大学), 2011.10.

「中国語母語話者の日本語漢字書字能力の実態から示唆されること」日本語教育方法研究会第42回研究会『日本語教育方法研究会誌』Vol.21 No.1 pp.58-59(横浜国立大学), 2014.3.

3. 主な社会活動

(1) 学会

日本語教育学会

専門日本語教育学会

日本語教育方法研究会

留学生教育学会